

### (3) 令和4年度における地域福祉センター 活性化の取り組み

# Kintone®の導入による情報交換の実施

- ・ふれあいのまちづくり協議会間の情報共有及び区役所まちづくり課の事務改善等の目的で、各区においてサイボウズ株式会社のkintone®（地域応援ライセンス）を導入。
- ・オンライン上で市からの通知等を掲載できるほか、ふれあいのまちづくり協議会間の情報交換や、各区まちづくり課に対しての問い合わせやセンターの修繕依頼等が可能。

【参考】西区の例（西区は昨年度より先行導入）

The screenshot shows the Kintone mobile app interface. At the top, there's a header for '西区ふれあいのまちづくり協議会 kintoneへようこそ'. Below that, a notification area contains text about logging in and using the app. A green banner titled '区役所からのお知らせ' (Notice from the Ward Office) is visible. Below the banner, there's a list of notifications with columns for '通知日' (Notification Date), '文書番号' (Document Number), '重要度' (Priority), 'タイトル' (Title), '内容' (Content), and '添付ファイル' (Attachments). The first notification is dated 2022-05-16 and is titled '202205\_令和4年度地域担当一覧.pdf'. The second notification is dated 2022-05-12 and is titled 'シニ...', with attachments including '活用したスマホ教室広報チラシ(要両面印刷).pdf', '参加申込書※本申込時时使用します(要両面印刷).docx', and '参加申込書※本申込時时使用します【PDF版】(2).pdf'. The third notification is dated 2022-03-22 and is titled 'エコ...', with attachments including '【浄書】エコタウンメニュー実施制限の解除について(1).pdf', '【別紙1】エコタウン活動団体向けの活動実施マニュアル (R4.3.22付改訂)(1).pdf', and '【別紙2】令和3年度エコタウン活動団体向けの活動実施マニュアル(1).pdf'. On the right side of the app, there's a chat list with various groups like '@岩岡第2ふれあいのまちづくり協議会', '@岩岡第1ふれあいのまちづくり協議会', '@学園西ふれあいのまちづくり協議会', and '@まちづくり課'.

通知日	文書番号	重要度	タイトル	内容	添付ファイル
2022-05-16		標準	令和...	各...	202205_令和4年度地域担当一覧.pdf
2022-05-12		標準	シニ...	...	【別紙1】活用したスマホ教室広報チラシ(要両面印刷).pdf 【別紙2】参加申込書※本申込時时使用します(要両面印刷).docx 【別紙2】参加申込書※本申込時时使用します【PDF版】(2).pdf
2022-03-22	神環...	標準	エコ...	つ...	【浄書】エコタウンメニュー実施制限の解除について(1).pdf 【別紙1】エコタウン活動団体向けの活動実施マニュアル (R4.3.22付改訂)(1).pdf 【別紙2】令和3年度エコタウン活動団体向けの活動実施マニュアル(1).pdf

The screenshot shows a chat conversation in the Kintone app. The chat is titled '@まちづくり課' and is from the user 'ふれまちタブレット' (6/8 14:52). The message content is: 'シニア向けスマホ教室について質問があります。6/8付けて配信されたお知らせの「スマホ教室開催の手順」の中では、2.開催までの流れ④ふれまちで参加者を募集してください、...とありますが、婦人会や青少年協等の各団体で募集をすることはダメなのでしょうか？教えていただくと助かります。よろしく願い致します。' Below the message are reaction icons for 'いいね!' (Like), '返信' (Reply), '全員に返信' (Reply to all), 'アクション' (Action), and 'リンク' (Link). The next message is from 'まちづくり課' (6/8 15:58) and says: '主催はあくまでも、ふれまちとなりますが、ふれまちの中で募集方法は、工夫していただければと思います。地域の方に広く広報していただけると幸いです。' Below this message are reaction icons for 'いいね!' (Like) and '返信' (Reply). The final message is from 'ふれまちタブレット' (6/8 16:06) and says: '返信ありがとうございます。' Below this message are reaction icons for 'いいね!' (Like) and '返信' (Reply).

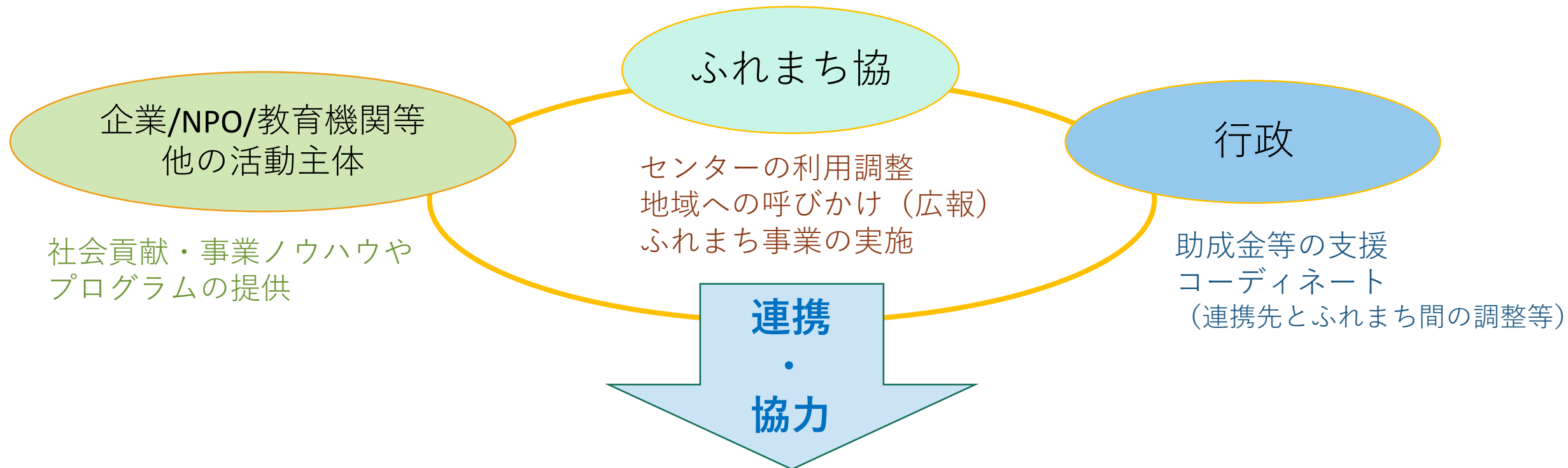
# Kintone®の導入による情報交換の効果と課題

	ふれあいのまちづくり協議会にとって	区まちづくり課にとって
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ等でも通知文等が都度確認でき、内容確認のためにセンターに行く必要がなくなった</li> <li>・アカウントを作成した役員等へ同時に通知されるため、協議会内でも迅速に情報共有が可能</li> <li>・ふれまち協から区への問合せや要望をオンライン上で行うことができ、区の電話回線が混雑している時間帯や閉庁日・時間でも連絡が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知文等を郵送・FAX送付する必要がなくなり、ペーパーレス化につながった（今後、活用が進めば職員の事務負担の軽減にもつながると考えられる）</li> <li>・区やその他関係機関が行うイベントなどの広報や軽微な事務連絡について気軽に行うことができるようになった</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・kintoneの活用方法について各協議会や個人で差がある</li> <li>・役員の交代等に伴い、kintoneの使い方も引継ぎをする必要がある</li> <li>・まだ、個々の業務アプリを活用できている協議会が少なく、区もkintoneを通じたふれまち協の内部事務の電子化についてうまくPRできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・kintoneの活用について、今後も引き続き、繰り返し研修（個別のフォロー）を行う必要がある。</li> <li>・導入当初は、kintone導入による事務の激変緩和のため、kintone・郵送・FAXで重複した発信を行ったため、一時的に事務負担が増加。現在も重要通知については郵送・FAXでもフォローを行う場合がある。</li> <li>・オンライン上で発信・発言することに消極的なユーザーが多く、各協議会同士の情報交換はあまり進んでいない。</li> <li>・今後、活用が進めば、ふれまち協自身で様々な帳票等をkintoneで作成するなど内部事務の効率化に向けた工夫の余地がある。</li> </ul>

- ・今年度より各区でふれあいのまちづくり協議会向けの説明会や研修等を随時行い、ふれまち協へkintone利用を促していく。
- ・また、ふれあいのまちづくり助成金等、各種活動助成等の申請についてもe-kobe（神戸市スマート申請システム）の導入を検討し、オンライン上での手続きを可能にしていく予定である。

# 地域福祉センターの活用促進に関するモデル事業の実施

- ・ 参画推進課と区まちづくり課が連携し、新たな活動への意欲はあるが、マンパワー不足やセンター利用率の低迷など、何らかの課題のある「ふれあいのまちづくり協議会」に対し、行政が積極的に事業連携先を紹介し、これまでに地域福祉センターで行ったことのないような多世代交流等の事業に取り組んだ。
- ・ 連携先としては、大学等の教育機関・NPO・企業・ボランティアを希望する個人など。



地域の活性化（多世代交流の促進等）

## モデル事業の内容

- ・今年度は地域福祉センターにおける多世代交流を意識し、親子で参加できる事業として「プログラミング体験会（教室）」を企業や高校、NPO等の協力を得て、全区で集中的に実施した。
- ・また、参画推進課で今年度実施した「地域課題に取り組むNPO等に対する補助金」の採択団体にヒアリングを行い、活動の場として地域福祉センターの活用を促し、ふれあいのまちづくり協議会とマッチングを行った。
- ・その他、大学生ボランティアを募集しての小学生への学習支援や図書館と連携した絵本の読み聞かせイベント、小学校と連携したみんなの本棚の作成、コロナの影響で実施できなかった夏祭りの景品を転用したビンゴ大会の企画など、各区で工夫も見られた。



鈴蘭台地域福祉センター  
(企業と連携した親子プログラミング教室)



脇の浜地域福祉センター  
(デザイナーと連携したアートイベント)<sup>5</sup>

# モデル事業内容のまとめ ※一部、実施予定も含み、重複した内容はそれぞれで計上している

	東灘	灘	中央	兵庫	北	北神	長田	須磨	垂水	西	合計
検討数	3	6	3	5	3	4	3	3	4	4	38
実施数	8	8	13	9	3	5	8	10	11	8	83

内容	プログラミング教室	親子向け読み聞かせ	NPOと連携した事業	子ども向け事業 (学習支援等)	管理負担軽減・ボランティア受入などの事業	その他	合計
実施数	38	6	2	16	12	9	83

	東灘	灘	中央	兵庫	北	北神	長田	須磨	垂水	西	合計
企業	4	5	9	6	3	5	6	5	2	2	47
NPO	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
教育機関	1	0	3	1	0	0	1	0	2	2	10
大学生等(個人)	2	1	1	0	0	0	1	2	0	1	8
区社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
図書館	0	0	0	1	0	0	0	3	2	0	6
その他	1	1	0	1	0	0	0	0	5	1	9



熊野地域福祉センター

(図書館・小学校と連携した本棚づくり、読み聞かせ)



長楽地域福祉センター

(企業・大学生起業家と連携した食育イベント)



小東山地域福祉センター

(老人会と連携した子供向けビンゴ大会)



池田地域福祉センター

(長田商業高校と連携した親子プログラミング体験会)

# モデル事業の効果

---

- ①プログラミング教室など子どもたちの興味関心の強いイベントを地域福祉センターで行うことで、多世代交流のきっかけや現役世代、子どもたちにセンターやふれまち協を知ってもらえる良い機会となることがわかった。
  
- ②ふれあいのまちづくり協議会が単独で新たな企画を立ち上げて実施することは難しいが、連携・協力先の確保や事業実施に伴う費用負担に関する相談対応等、行政が間に入ってうまくコーディネートすることで様々な内容の企画を実現することができる。
  
- ③概ね小学校区に1つずつ整備している地域福祉センターの利活用を促進するためには、ふれあいのまちづくり協議会と小学校や児童館との連携が重要である。特にふれあいのまちづくり協議会が広報・集客を主に担うこととしたが、小学校と円滑に連携がとれているセンターについては集客面で困ることはなかった。